

弘前市教育委員会生涯学習課図書館・郷土文学館運営推進室の佐々木と申します。4月から弘前市立図書館・郷土文学館の指定管理第2期スタートしておりますが、改めて図書館運営に期待したいことなどをお話します。

いまだに新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、図書館においても利用制限を設けるなどの対応を取らざるを得ない状況が続いております。一刻も早い終息を祈るばかりです。

初めに、私は図書館勤務が初めてですが、これまで社会教育施設（博物館等）に6年ほど勤務してきた経験を活かして、図書館利用者へのサービス向上に取り組んで参りたいと考えております。

現在所属している図書館・郷土文学館運営推進室は、弘前図書館事務室内に位置し、市の直営業務である古文書、郷土資料に関する

弘前市立図書館・郷土文学館の指定管理第2期スタートに当たって
佐々木 健一

はと笛

業務（図書館2階調査室の管理運営や古文書デジタル化など）、追手門広場の維持管理業務並びに指定管理者との連絡調整等を行っています。

まず、図書館の指定管理が始まつた第1期5年を振り返つてみましよう。第1期では、図書館に書籍除菌機と無料Wi-Fiが設置されました。更に利用者の要望が多くつた本の貸出冊数の無制限化も行われ、いずれも図書館利用者へのサービス向上に大きく寄与しております。接客サービスについても、図書館に寄せられる利用者の声では、「スタッフの対応が丁寧」など、おおむね高評価をいただいております。更に多くの皆さんに図書館を利用いただくための取り組みとして、弘前ライブラリーシネマ（バリアフリー映画上映会）や図書館コンサート等のイベントも開催されました。

併設する郷土文学館も一体で指定管理となり、こちらは魅力的な企画展を開催するとともに、「ラウンジのひととき」や文学散歩など多彩なイベントが開催されました。図書館には本の貸出しという重要な役割がありますが、ほかの役割もあります。誰もが気軽に集い、交流できる場を提供することも大事な役割の一つです。このことから2期目では来館者数の増加を新たな目標に加えて、更なる来館者層の開拓を図り、より快適で親しみやすい施設を目指して取り組まれることを期待しています。



具体的には、地域の学びの場として市民相互がつながる、市民とつながる図書館を目指して行われる各種イベントやロビー展示の充実、地元団体やボランティアの皆さんとの楽しい交流空間の構築などです。

郷土文学館では、企画展の開催に加え、F Mアップルウェーブを活用した文学作品の朗読の配信や、文学を楽しんでいたくための文学忌などを継続し、新たな来館者を増やす取り組みが進められていて、周知がすすむことを期待しています。

図書館の運営におきましては、「地域の学びの場」、「楽しい交流空間」、「知の拠点」を目指して、地域とつながる図書館でありたいと願っております。

いずれにしましても、市民の皆さんにこれまで以上に図書館・郷土文学館をご利用いただけるように職員一丸で取り組んで参ります。

● イベント実施報告 5月～8月

〈弘前図書館〉 5月21日

手作り絵本講習会

親子で世界に1冊だけの絵本づくり



講習会の様子

今年も弘前市在住の絵本作家ささやすゆきさんを講師に迎え、第11回手作り絵本講習会を開催しました。参加してくれた子ども達は、予め考えてきたお話を絵本にするために、ささ先生のアドバイスや図書館の図鑑などを参考にしながら、一生懸命絵を描いたり文章を考えしていました。記念撮影では、自分で作った世界に1冊だけの絵本を嬉しそうに掲げているのが印象的でした。



講習会の様子

弘前図書館～7月16日
弘前ライブラリーシネマ
人気絵本の実写映画化作品を上映
『ピノキオ』

今回の子ども向け映画会は、17名の方が参加されました。上映作品は、『パパはわるものチャレンジ』。

弘前ライブラリーシネマ
人気絵本の実写映画化作品を

〔弘前図書館〕 7月16日

〔弘前図書館〕 7月9日
調べる学習コンクール館内講座
気になる事を調べてみよう

（「じどりも絵本の森」）6月12日

雑誌の無料配布

毎年2月に雑誌の無料配布を行っていますが、昨年度（2022年2月）は臨時休館中のため中止。今回は時期をずらしての開催となりました。当日は開館前から並んでくれた方、家族連れも多く見られました。「前回参加した経



雑誌を吟味する参加者

スラー達が迫力あるシーンを、また、木村佳乃さんや寺田心さんが家族役を演じ、物語はリアリティを感じさせます。お話を悪役レスラーの父親が、息子に正体がばれてしまふ事から展開。父親の戦う姿を通して、家族との絆を取り戻すストーリーに、年齢問わずお楽しみいただけました。

〔岩木図書館〕7月16日
空き箱で自分だけの万華鏡を作ろう！
夏休み応援企画！



験を生かして早めに来て並んでよかったです!」と希望する雑誌と付録をもらつて嬉しそうに話してくれた親子さん。今回は64名の方へ112冊を配布しました。

〈こども絵本の森〉 6月1日～6月30日

ハッピーボックス

今回はどんな本に出会えたかな?



扉を開ける子どもたち

子どもに大人気の「本のガチャポン ハッピーボックス」。今回は時の記念日に合わせて、時間をテーマにした7つの扉に、大人も子どももそれぞれが楽しめる本をご用意しました。扉を開けると歓声が聞こえ、参加した皆さんに本との出会いがあつたように思います。期間累計の参加人数はなんと340人!ご参加ありがとうございました。

〈こども絵本の森〉 7月3日

市民の健康まつり

みんなで、いつまでも健康でいよう!

弘前市・弘前市医師会が主催したこのイベントに協賛し、こども絵本の森では、だし・減塩など料理の本やアロマ・ストレッチなどリラックスできる本、楽しく学べる体や栄養素の図鑑

など各世代に向けた「健康に関する本」を展示しました。期間中はたくさんの方に興味を示していただき、貸出に繋がりました。

〈弘前図書館〉 7月1日

調べる学習出前講座 学校でもチャレンジ!

図書館職員が小沢小学校に出向き、3年生の児童を対象に調べる学習の出前講座を開催しました。小沢小学校で行う講座は今年で2年目となります。講座では犬に関するクイズを図書館の本を使って解きながら、調べる学習について学んでもらいました。子ども達が今回の経験を活かし、調べる学習に挑戦してくれることを願っています。



出前講座の様子

〈弘前図書館〉 7月23日

夏休みおはなし会 動物や食べ物のシルエットクイズに挑戦!

今回は、5組のご家族の参加があり、参加者はおはなしボランティア「おはなしボックス」のみなさんによる絵本の読み聞かせやパネルシアターでのおはなしを楽しみました。パネルシアターの「シルエットクイズ」は、簡単なクイ

ズもあればひっかけクイズもあり、子どもたちは楽しそうに答えていました。かえるが登場する絵本『がまくん からくん』の読み聞かせの後に、紙パックで作ったかえるが飛び出して参加者を驚かせていました。

〈弘前図書館〉 8月1日～8月31日

4館スタンプラリー 暑い中、ご参加いただきありがとうございます!



スタンプラリーコーナーの様子

弘前市の4つの図書館を皆さんに知っていただるために、始めた4館スタンプラリー。指定管理開始から毎年開催しており、今年で6回目です。感染予防のためスタンプを印刷したシールを配布しました。記念スタンプはどれも力作で、シールを貼るのも楽しそう♪初日から参加者も多く、そ

の日のうちに岩木図書館でコンプリートした方がいらっしゃいました!毎年沢山の方々に楽しんでもらえることを嬉しく思います。これからも4館共々よろしくお願ひ致します。



シルエットクイズに答える親子



夏休みを図書館で楽しもう！



前ページの事業報告でもお伝えしたように、弘前図書館では年間を通して様々なイベントを企画していますが、子どもたちの利用が多くなる夏休みは特に盛り上がります。

こども絵本の森、相馬ライブラリーで開催された魅力あふれる夏休みイベントをご紹介します！



こども絵本の森

夏休みおはなしクイズラリー2022

海の中を探検して宝箱を見つけよう！



挑戦する親子

今年のテーマは「海底探検」。閲覧室を海の中に見立てました。マンタやマンボウなど館内の至る所で魚たちがお出迎え。展示している生き物にはそれぞれの紹介文がついたプレートも用意しました。ヒントを参考に宝箱を見つけて、おはなしクイズに挑戦する子ども達。クイズラリーやしかけに子ども達はもちろん、お母さん達も大喜び！

「水族館みたい」や「すご～い！！」

や「ここにも！？」と親子の楽しそうな歓声が飛び交う一ヶ月間でした。初日から「毎年楽しみにしてるの♪」と嬉しそうにやってきた子どもたちに出会い嬉しくなりました。

7月中には参加者が100人近くにのぼりました。

皆さんのご参加ありがとうございました。



参加者もびっくりの大きなタコ



相馬ライブラリー

本のあたのしみくじ2022in そうま

くじを引いて本を借りてみよう！



くじと金魚ねぶたのペーパークラフト

夏休みの特別企画として、くじを引いて本を借りてもらうというイベントを開催しました。今回はどなたでも楽しんでもらえるように、大人用、児童用、幼児用のくじを用意しました。参加者からは「大人も参加できるの？」「自分では手に取らないような本を借りてみるのもおもしろい。」と大好評でした。また、くじに書かれたタイトルの本を探して持ってきてもらうことで、普段見ないジャンルの本棚をじっくり見てもらえたのもよかったです。イベントの参加者には金魚ねぶたのペーパークラフトをプレゼント。「親子で作ってみます」という方が多く、夏休みにはぴったりのイベントになりました。





弘前市立図書館で

Twitter をはじめます



図書館のことをもっと多くの方に知ってもらいたいという思いから、弘前図書館・岩木図書館・こども絵本の森の3館は、9月よりTwitter（ツイッター）を活用した情報発信をはじめます。

たとえば図書館にある本のこと、休館日・イベント情報など、様々な情報をリアルタイムで発信していきます。インターネットを利用できる環境をお持ちの方でしたら、どなたでも読むことができます。ぜひチェックしてみてくださいね。



図書館の情報をリアルタイムでチェック！
アカウント名は後日館内ポスターやホームページでお知らせします。



おはなし会 おみやげコレクション

弘前図書館で行われる、夏休みおはなし会とクリスマスおはなし会では毎回スタッフ手作りのしおり&飛び出すしきけ付きのプログラムカードをプレゼントしています。
どれも楽しい工夫が施されたものばかりです。今回はその一部をご紹介します。



飛び出すイルカがさわやかな
夏休みおはなし会のプログラム
(2021年夏休みおはなし会)



ひっぱると……



左：2021年夏休みおはなし会
右：2020年クリスマスおはなし会



サンタさんが飛び出す！
(2021年クリスマスおはなし会)

かき氷のシロップはオーロラ折り紙、
リボンがクリスマス仕様、などなど、
しおりにはこまやかな工夫が光ります





BOOK REVIEW おすすめの1冊

『くらのかみ』
小野不由美／著
講談社
2003年刊



大人気作家の小野不由美による、読み応え抜群の児童向けミステリです。田舎の大きな屋敷の相続者を決めるため、屋敷に集められた親族。仲良く遊んでいた子どもたちは、いつの間にか子どもが一人増えていることに気づきます。しかし、どう思い返しても「誰が」増えたのかわかりません。この屋敷に憑く座敷童が紛れ込んでいるのだ、というのですが……。はたして誰が座敷童なのでしょうか?ぜひ推理しながら読んでみてください。

『ホラー横丁13番地〈1〉 吸血鬼の牙』

トニー・ドンババンド／著
偕成社
2012年刊



10歳の誕生日に狼男になってしまった主人公のルーケ。ある日、顔のない謎の男たちによってルーケ一家は「ホラー横丁」へ送られてしまします。そこは、ポルターガイスト現象が起こりゾンビや魔女が住むモンスター街でした。本を探すことになったルーケもとの世界に戻るため「ホラー横丁ものがたり」という

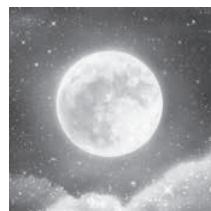
『ヒュパティア
後期ローマ帝国の女性知識人』
エドワード J.ワット／著
白水社
2021年刊



ヒュパティアは後期ローマ帝国のアレクサン드리アで活躍した知識人です。高名な数学者の娘として生まれ、自身も優秀な数学者であり、哲学者でもありました。本書にはヒュパティアの生涯と彼女の偉業が、当時の状況や時代背景とともに生き生きと描かれています。生き方を貫くには、困難も多々あったのでしょうか。それでも自らの信念に従い、選択した道を行く、その真摯な生き方に心が震える一

『柳田國男 ちくま日本文学:015』

柳田國男／著
筑摩書房
2008年刊



代表作『遠野物語』を始め、草花の各地域での呼び名を収集・考察した「草の名と子供」など、詩人で民俗学者である著者の研究を垣間見ることができます。『浜の月夜』『清光館衰史』は、月夜に眺めた盆踊りと翌朝の様子、宿泊した宿とその後についての随想で、この紹介文を書いている私は、まるで著者と一緒に現地を訪れて踊りを眺めていたような、それでいて夢を見たような、何とも不思議な気持ちになります。

『地元写真家がいちばん見せたいにっぽんの絶景』

別所隆弘／監修
玄光社
2022年刊



表紙にあるように、この一冊で全国へ旅が出来ます。弘前公園の花筏や小川原湖など青森県の風景も多数掲載。地元の風景が掲載されているとなるべく誇らしい気持ちになります。全国各地の風景は幻想的で、それぞれの良さがあり心が躍ります。さすが地元を知り尽くした地元写真家。どちらも素晴らしい見入ってしまいます。遠くへ行くのはまだ難しいので、まずはこの本で全国に行つてみませんか?

『胞子文学名作選』

永瀬清子、小川洋子 ほか／著
田中美穂／編
港の人
2013年刊



「胞子文学って何」……?と不思議に思われるかもしれません。このアンソロジーを読めば、聞きなれない言葉にも思わず納得してしまうはずです。苔、シダ、キノコ、カビ……様々な胞子が主役の小説が、ぎゅっとつまっています。さらに面白いのは、作品によって、フォントや組版が違うどころか、違う紙に印刷されているところ。それぞれの世界観に合わせた工夫が行き届いていて、じっくり作品にひたることができます。

冊です。

予約サービス

ほかのお客様が借りている本や、市内の他館にある本を借りたいときには予約サービスが便利です。お目当ての本が見つからないときにはぜひカウンターにお声がけください。今回は予約された本がどうやって利用者のみなさんのお手元に届くのか紹介します。

①予約する

図書館のカウンター、スマートフォンなどで本を予約します。このとき、「どの図書館で受け取りたいか」「届いたときの連絡方法」などを指定することができます。



③予約資料を受取館に運ぶ

弘前図書館・こども絵本の森・岩木図書館・相馬ライブラリーの予約本を4館のどこでも受け取ることができます。予約時に指定された図書館に、専用の運搬車で本を運びます。毎週決まった曜日に運搬しています。

⑤予約資料を貸し出す

お客様に本をお渡しします。
お待たせしました！



④利用者に連絡する

貸出の準備ができたことをお客様にお伝えします。



A. Q.

予約本が届いたらすぐに図書館に行かないといけませんか？

お客様と連絡が取れてから2週間取り置きしています。お都合のよろしいときにお越しください。

A. Q.

図書館の検索機でも予約できますか？

予約することができます。こちらもカウンターで仮パスワードを発行してもらう必要があります。お近くの図書館にお越しください。

A. Q.

インターネットでも予約できますか？

予約することができます。ただし、最初の登録時にはカウンターで仮パスワードを発行してもらう必要があります。お近くの図書館にお越しください。

A. Q.

予約できない資料はありますか？

本・CD・DVDは予約することができます。雑誌は予約できません。

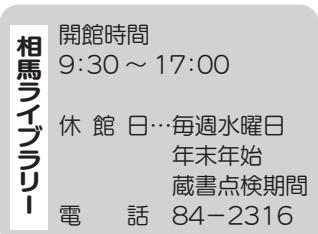
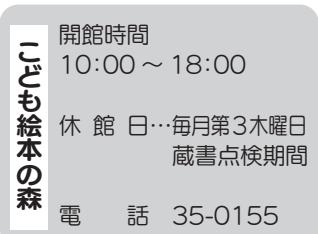
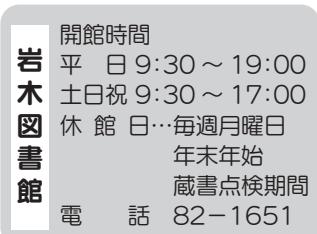
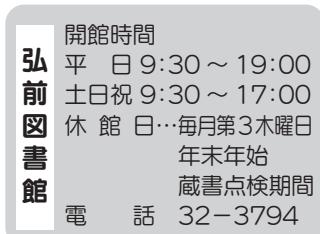
◆よくあるお問い合わせ



お知らせ・図書館イベント等の情報 9月～11月

※都合により、変更になる場合がございます。

| 開催館・日時 | イベント名 | 内容等 |
|--|--------------------------|---|
| 弘前図書館 9月10日（土）13時30分～15時 ※13時開場 | 大人のための図書館見学 | 【対象】18歳以上の方 【参加料】無料【定員】20名（先着順） 【申込】8月20日（土）9時30分から 電話またはカウンターにて受付 ※定員に達している場合はご了承ください |
| 弘前図書館 9月17日（土）10時～12時 ※9時30分開場 | 調べる学習特別講座 in 弘前図書館 | 【対象】中学生以上 【定員】10名（つきそいは1名まで） 【参加料】無料 【申込】9月10日（土）までに電話 またはカウンターにて受付 |
| 弘前図書館 9月24日（土）10時～12時 | おはなしと読み聞かせ講習会 | 【対象】図書館で読み聞かせボランティアを 始めてみたい方、読み聞かせのスキ ルアップを図りたい方。 【定員】20名（先着順） 【申込】8月19日（金）9時30分から 電話またはカウンターにて受付 ※定員に達している場合はご了承ください |
| 弘前図書館 10月8日（土）13時～16時 | 弘前ライブラリーシネマ バリアフリー映画会 | 【上映作品】『おらおらでひとりいぐも』 【定員】25名（先着順） 【申込】9月12日9時30分から 電話またはカウンターにて受付 |
| 弘前図書館 東北電力側正面入口前 10月16日（日）13時30分～16時 | 移動図書館車はとぶえ号 1日開放 | 【申込】どなたでも（申込不要） 正面玄関前に駐車。車内の見学など。 |
| 弘前図書館 10月29日（土）9時30分～ ※雑誌がなくなり次第終了 午前九時より正面玄関にて整理券を配布 | 雑誌の無料配布 | 【申込】どなたでも（申込不要・先着順） 雑誌のバックナンバーを無料で提供 |
| 弘前図書館 11月23日（水・祝）13時30分～14時35分 ※途中5分間の休憩あり | 小学生に贈るおはなし | 【対象】小学生25名（先着順） 【語り手】読み聞かせボランティアのみなさん 【申込】10月14日（金）9時30分から 電話またはカウンターにて受付 |



発行：指定管理者 TRC・アップルウェーブ・弘前ペンクラブ共同事業体

